

りんく・りんく京都

事業内容： 《絵から読み解く》 こどもの「こころ」と「からだ」を育む

親と子のアートセラピー教室

趣 旨：<こども>…自己表現のうまくできないこどもが増えています。また、外遊びや友だち、近所の交流などが少ないためにコミュニケーションがうまくいかず、心苦しい気持ちを抱えていることが多いのですが、本人は無意識で気がつかないこともあります。しかし、このような状態は必ずどこかに出てくるものです。いじめ、暴力、ひきこもり、不登校、からだの不調(頭痛、腹痛、こども鬱など)を引き起こすこともあります。

<お母さん>…毎日忙しいお母さんは、こどもの気持ちをイメージしているでしょうか？こどもの言葉を自分の気持ちで判断していないでしょうか？多分こうだろう。。。この子はこういう子だから。こどもの「認めて欲しい」「怒らないで」「待って欲しい」「叩かないで」「聴いて」「観て」そんな言葉にならないこころの中をイメージできたら、子育てが変わるのではないのでしょうか。

絵はこころを表出します。自己表現の一つです。絵の上手い下手で観るのではなく、簡単なお絵かきからこどもの気持ちをくみ取る勉強をします。上手くなくてもいいのです。まだ言葉で上手く表現できない気持ちを自由に外に出せたとき、子どもは素晴らしい発想力が生まれます。

また、何気なく描く絵にはそれぞれの大切なメッセージが隠されていることがあります。その子の成長もあらわれます。お母さんはそんなお子さんの気持ちをくみ取る勉強会をしながら、子育て、栄養、発達などのお子さんの成長に関することも含め、定期的に見つめていきます。

親子のコミュニケーションが生まれると、希薄になった関係が円滑になり、児童虐待ひきこもり 不登校 いじめなどを未然に防ぐことができます。

「親と子のアートセラピー教室」では、こどもは自由な表現から発想力を豊かにし、お友達や周りとの良い関係を築けることを目的に、お母さんはこどもの豊かな成長を見守るために作られた親子の成長教室です。

後援 京都市
京都市教育委員会
京都府社会福祉協議会
京都市社会福祉協議会
きょうと NPO センター
現代心理研究会

協力 読売新聞 Y C 大宮

お問い合わせ

「heartful station りんく・りんく京都」

〒602-8216 京都市上京区堅門前町 414-501

<http://blog.canpan.info/link/>

E-mail link.kyoto@gmail.com 090-4280-3894 (かねさき)